

## 弘前大学の理念

弘前大学は、教育基本法  
の精神にのっとり、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究し、**知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、人類文化に貢献しうる教養識見を備えた人格者の育成をもって目的とする。**

## ◎ 教養教育海外派遣プロジェクト ～パラオ共和国～

本学の学生教職員を太平洋戦争末期激戦地となったパラオ共和国に派遣し、今なおパラオに残る戦争の傷跡をたどり、戦争の悲惨さや平和の大切さを学び、また異文化に触れ、多様な価値観を理解する機会とする。

令和6年10月13日～17日の期間で、福田学長・岡崎教育担当理事が事前調査としてパラオ共和国を訪問。在パラオ日本大使館を表敬訪問し、大使に直接事業の説明を実施した。また、実際に学生が訪れる予定のペリリュウ島やベラウ国立病院、国立博物館を訪問し、安全性を確認するとともに、現地の関係者との交流を深め、先行事業の重要性を確認した。

そして、第1回本隊派遣として、令和7年2月10日～14日に事前調査で確認した各施設等を、若林企画担当理事・袴田病院長と共に学生10名がパラオ共和国を訪問する。なお、本プロジェクトでは、令和9年度まで計4回の派遣を予定している。

### 事前調査 令和6年10月

【福田学長・岡崎教育担当理事】

- ・在パラオ日本大使館
- ・ベラウ国立病院
- ・ペリリュウ島
- ・国立博物館



### 第1回本隊派遣 令和7年2月

【若林企画担当理事、袴田病院長、学生10名を派遣】

#### ◆派遣日程(令和7年2月10日～14日)

《訪問予定先》

- ・在パラオ日本大使館
- ・ベラウ国立病院
- ・ペリリュウ島
- ・パラオコミュニティカレッジ
- ・国立博物館

※学生による報告会 3/11(火)13:30-14:00 [50周年記念会館]

- ・パラオ共和国派遣に派遣した学生による大学構成員を対象とした報告会を実施